

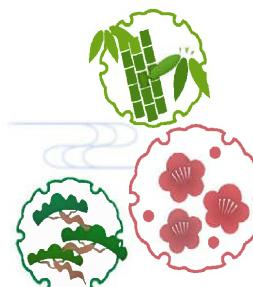
新年明けましておめでとうござります。先生方におかれましてはよいお正月をお迎えになられたことと拝察申し上げます。おかげさまをもちまして、加古川・高砂支部ニュースは二〇〇号を発行することができました。これも先生方の日頃よりのご尽力の賜物と存じます。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。本年も加古川・高砂支部のさらなる発展を願い頑張って参りたいと思っております。

さて、昨年四月の診療報酬改定は、診療報酬本体が引き上げとされていましたが、診療報酬総体では四回連続のマイナスとなりました。特に診療実態を無視した外来管理加算のいわゆる「五分ルル」の導入により、日医の調査では当初の厚労省の試算を大幅に上回る八〇〇億円の減収になつたとも報じられており、医療機関の経営、ひいては地域医療を守る観点

からも時間要件の撤廃に向けた運動がますます重要となつております。さらに、社会保障費総枠抑制を中心とした後期高齢者医療制度の創設やレセプトオンライン請求義務化、特定健診問題など、医療機関と患者さんに負担を強いる課題が山積しています。このほか消費税引き上げなどの大増税計画や憲法改悪の動きなど国民生活全般を脅かす流れも看過できません。昨年の支部総会ではマイケル・ムーア監督の映画『シッコ』上映会を行い、市民の方から「国民皆保険制度は日本が世界に誇る制度。この制度は存続していかなければいけない」「後期高齢者医療制度は即時廃止してほしい」との声も寄せられました。

このような情勢の中、医療改悪を阻止する運動を強めるとともに、当支部の二〇〇九年の活動方針として、以下の点を主要課題として取り組みたいと考えております。

- 一、会員の要望をもとに、学術研究会や勉強会、在宅医療研究会、医科・歯科共通の研究会などの開催をめざす。
- 二、保険請求や審査、指導、監査に関する情報交流や、医院経営問題



## 新年のご挨拶

**加古川・高砂支部  
支部長 橋本 能直**

## 医療改悪にストップを!

県  
兵庫  
保険医協会  
**高砂支部ニュース**

No. 200  
2009年1月5日

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目二十三  
神戸フコク生命海岸通ビル五階  
電話 ○七八一三九三一一八〇(代)

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部  
会員登録

からも時間要件の撤廃に向けた運動がますます重要となつております。

ささらに、社会保障費総枠抑制を中心とした後期高齢者医療制度の創設やレセプトオンライン請求義務化、特定健診問題など、医療機関と患者さん

など、協会ならではの活動にいつそう力を注ぐ。

三、職員接遇研修会や講習会、医療安全管理対策研修会など、スタッフ対策を含めた企画を引き続き開催する。

四、会員懇談会や新規開業医懇談会、英語で診療、医療問題の学習など会員相互の意見交流と親睦をはかる。

五、加印社会保障推進協議会の活動に参加・協力する。また健康と医療について語り合う会などを通じ、地域住民、他団体との交流を強める。

六、支部ニュースの定期発行、支部活動の基礎となる幹事会の充実をはかる。

以上のように、加古川・高砂支部では、開業医の生活と権利を守り、患者・住民とともに地域医療の充実・向上をめざすため、国民的な運動を一層取り組んで行きました。私は、この運動をめざすために、地域医療を守るために、日々奮闘してまいります。

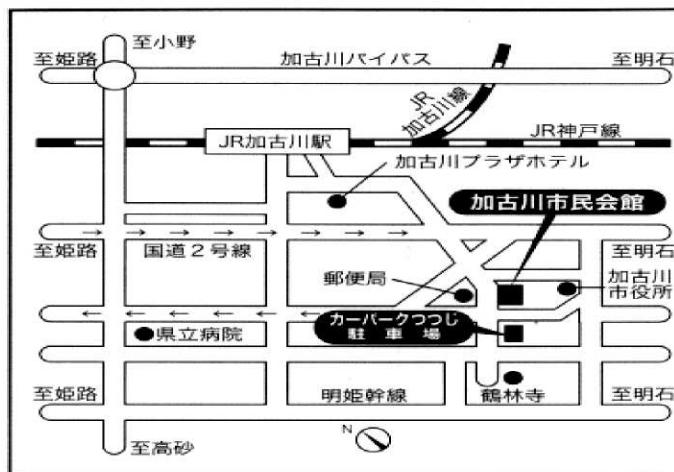
会員懇談会＆新年会 ご案内  
**税務調査への心がまえ**

-税務調査の最近の傾向と対策-

支部では「税務調査への心がまえ」と題し新年会を兼ねた会員懇談会を企画しました。税務調査の最近の傾向と対策について、食事をしながらざっくばらんに意見交換も行います。ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。

日 時 2009年1月24日(土)午後6時～8時  
 場 所 加古川市民会館 2階レストラン「つつじ」  
 講 師 協会税務講師団 浦上 立志 税理士  
 参加費 3,000円(資料代・食事代含む)

\*食事をご用意しております



参加申込は、FAX 078-393-1802まで

市町名〔 〕

医療機関名〔 〕

お名前〔 〕

お電話〔 〕

「誰もが納められる」保険料に引き下げる求めることを求めて、加印社会保険推進協議会(会長 橋本能直支部長)が中心となり、「加古川市の国民健康保険料の引き下げを求める会」が結成された。

加古川市が行つた二〇〇八年度の保険料改定は昨年度より総被保険者一人あたり約二万円の引き上げとなり、兵庫県社会保障推進協議会が行つた「国保一〇市アンケート」結果でも引き上げ額が一〇市中で第一位、保険料額でも芦屋市について第二位となつた。

市当局は値上げの理由として、①後期高齢者医療制度の実施による加入者数減少による保険料減収、②「保険医療費」が毎年増加、③介護納付金に見合

う「介護分」保険料への増額予定、④収納率低下による調整交付金7%削減のペナルティを受けたなどを列挙している。これらについてはさらに詳細な検討を加える必要があるが、市の一般会計からの繰入金は、総被保険者一人あたりの金額では県下一〇市の中では最低クラスに位置しており、繰入金を高き上げれば、保険料を加入者一人あたり一万円程度引き下げが可能である。

「会」では、加古川市の国民健康保険料の引き下げを求める署名運動に取り組むとともに、保険料滞納者に対する資格証明書や短期保険証の発行、未交付などの制裁をやめさせ、すべての加入世帯に保険証を交付するよう求めている。

**「加古川市の国民健康保険料の引き下げを求める会」を結成**

**「誰もが納められる」保険料に引き下げを!**

兵庫県下主要10市 総被保険者一人あたりの国保料額の比較

	2008年度 保険料	2007年度 保険料	引上げ額	2008年度 一般会計繰入金
芦屋市	111,691	98,783	12,908	21,836
加古川市	104,775	85,196	19,579	12,524
姫路市	100,313	96,820	3,493	10,744
西宮市	98,098	103,217	-5,119	18,710
明石市	95,584	88,684	6,900	12,677
神戸市	86,686	83,637	3,049	16,164
高砂市	83,977	91,344	-7,367	23,419
宝塚市	83,925	86,963	-3,038	20,915
尼崎市	83,876	84,670	-794	19,100
伊丹市	79,196	81,666	-2,470	16,191
10市平均	92,812	90,098	2,714	17,228

※兵庫県社会保障推進協議会「国保10市アンケート」結果より